

三四〇四番

上野かみつけの 安蘇あそのま麻群そむら かき抱むだき 寝ぬれど飽あかぬ  
を あどか我あがせむ

三四〇五番

上野かみつけの 乎度をどの多杼里たどりが 川路かはぢにも 児こらは逢あは  
なも ひとりのみして

三四〇六番

上野かみつけの 佐野さのの莖立くくたち 折をりはやし 我あれは待またむゑ  
今年ことし来こずとも

三四〇七番

上野かみつけの まぐはしまとに 朝日あさひさし まきはし  
もな ありつつ見みれば